

守口市
地球温暖化に関する市民アンケート調査
結果速報

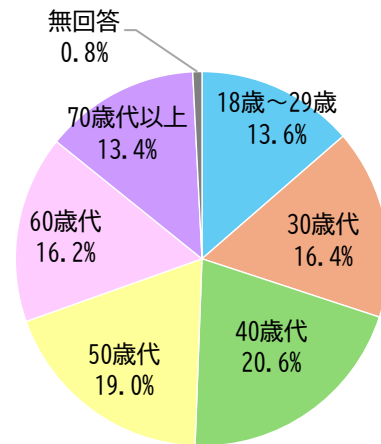
調査概要

対象	守口市在住 18 歳以上の市民 1,500 人(無作為抽出)
実施期間	令和 7 年 9 月 12 日～10 月 6 日
回答方法	WEB と紙面の選択式
回答数	506 人 (回収率:33.7%)

回答者の属性

世代

世代	配布数	回収数	回収率
18 歳～29 歳		69	
30 歳代		83	
40 歳代		104	
50 歳代		96	
60 歳代		82	
70 歳代以上		68	
無回答		4	



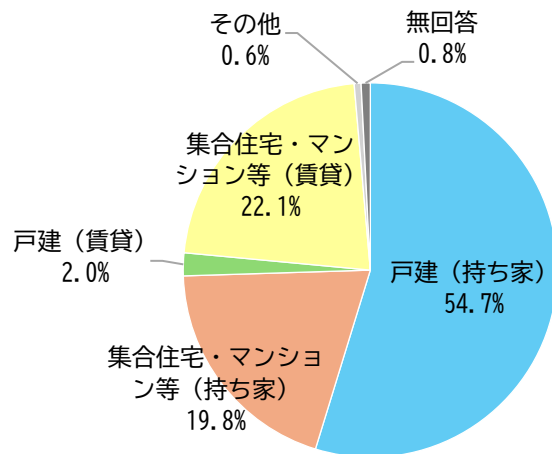
(回答者数：506人)

図 1 回答者世代別割合

住居形態

最も回答が多かったのは「戸建(持ち家)」で 54.7%、続いて「集合住宅・マンション等(賃貸)」22.1%、「集合住宅・マンション等(持ち家)」19.8%でした。

回答者の約 7 割が持ち家と答えています。



(回答者数：506人)

図 2 居住形態の割合

家族の人数

家庭の人数の内、回答が最も多かったのは「2 人」で 29.8%、続いて「3 人」の 26.5%、「4 人」の 21.9%でした。

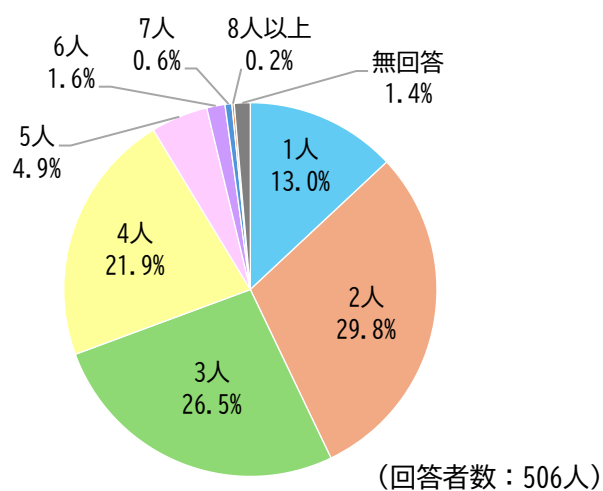


図 3 家族の人数割合

問 1 あなたが(または、あなたの家庭で)日ごろ行っている地球温暖化対策の取組についてお聞きします。以下の 1～11 のそれぞれの取組について1つに○をつけてください。

「している」の割合は「冷房時にすだれやブラインド、カーテンなどで日射を遮るようにしている」が最も多く 82.0%でした。続いて「シャワーを流しっぱなしにせず、使用時間を短くしている」が 75.1%、「宅配ボックスや置き配の利用など、できるだけ宅配便を1回で受け取るようにしている」が 73.5%の順でした。

一方で「していない」の割合が最も高かったのは「季節に合わせて冷蔵庫内の温度を調節している」の 69.8%で、次いで「テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」60.7%となっていました。

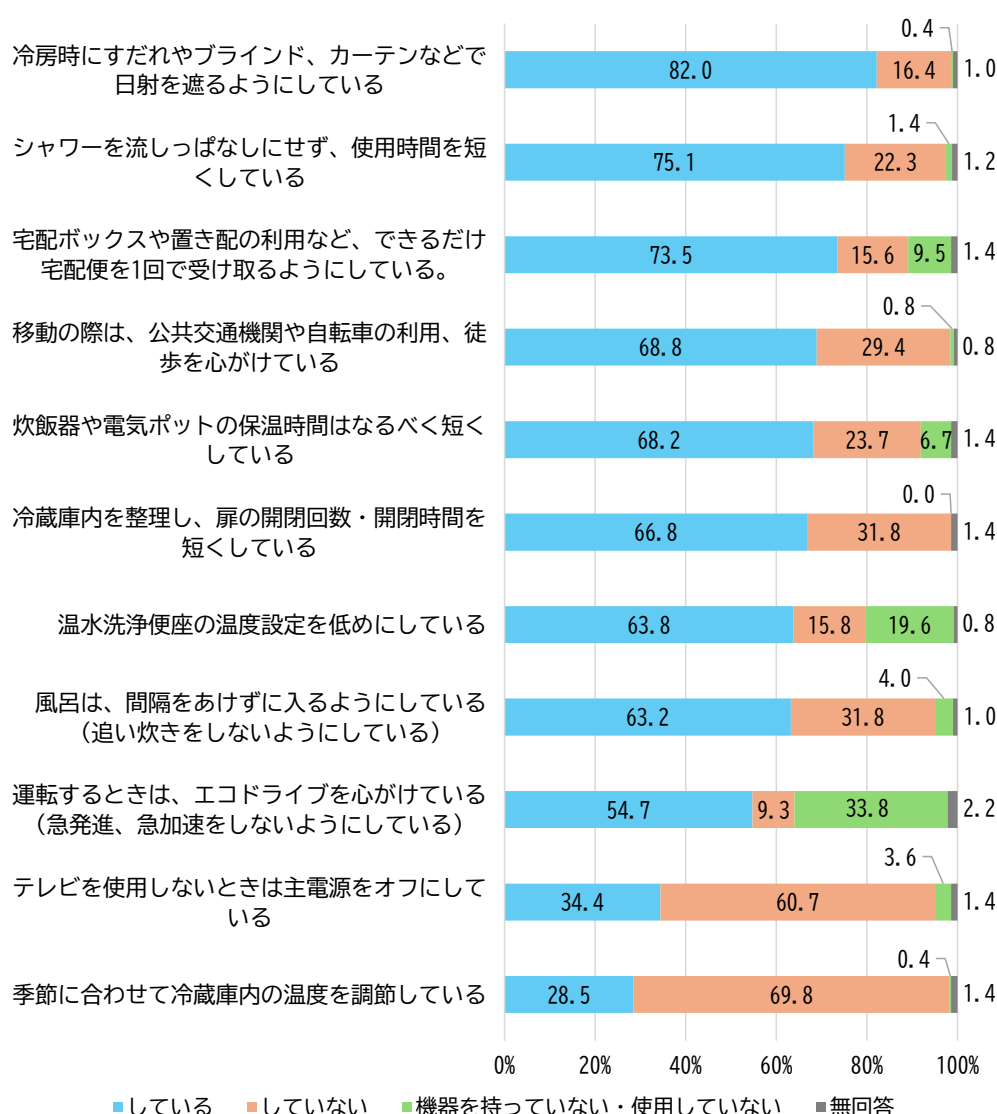


図 4 地球温暖化対策の取組状況

問 2 問 1 にあるような地球温暖化対策の取組を実施するにあたって、支障があると感じるものは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

実施にあたり、支障があるものについて回答数が最も多かったのは「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」で 29.4%、続いて「取り組んだ成果が実感できない」が 29.1%、「何をどのように取り組めば良いのかわからない」が 18.8%でした。

なお、47.6%の人が「特に支障があると感じることは無い」と回答しています。

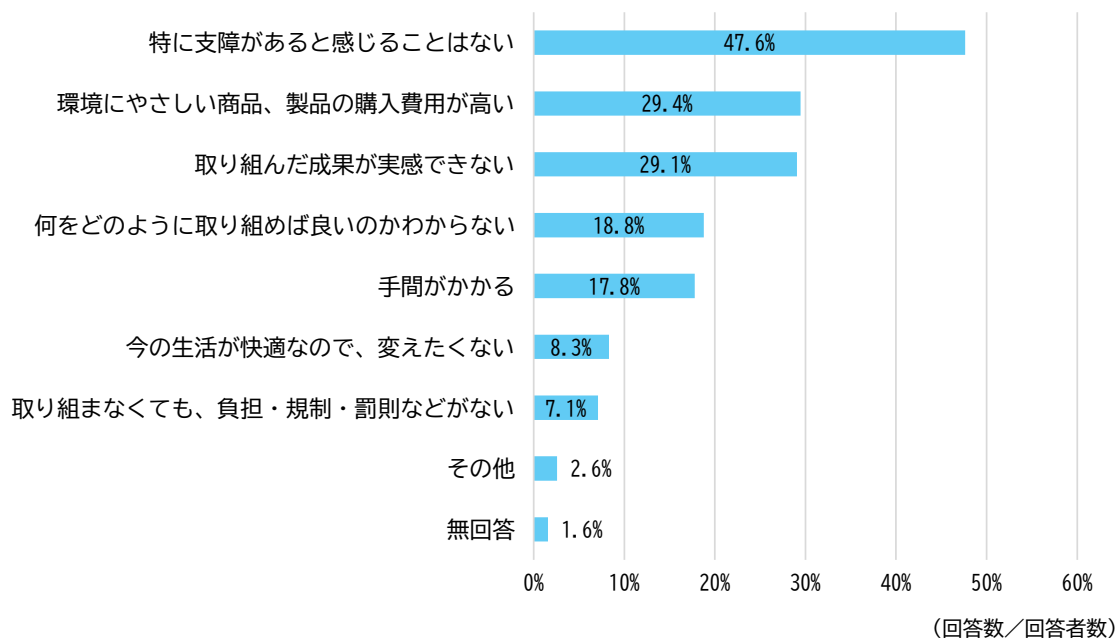


図 5 地球温暖化対策の取組実施に対し支障のある事柄

問 3 あなたは自宅での電気・ガス・水道・車のガソリンなどのエネルギー使用量について、どのように考えていますか。1 つ選んで○をつけてください。

エネルギー使用量について、「減らしたい」の割合は 85.6%で、8 割以上の人がエネルギーの使用量を現状よりも減らしたいと回答しました。

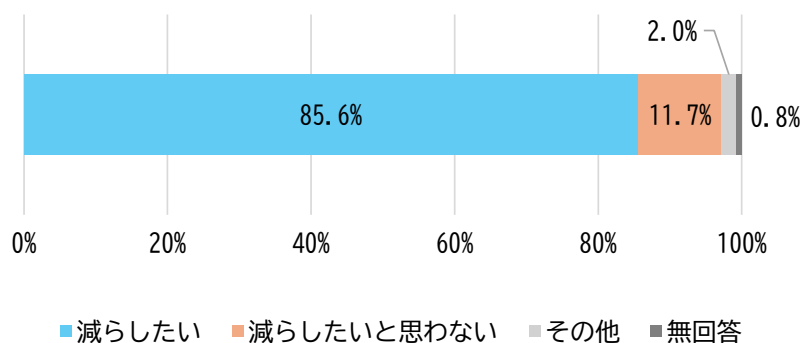


図 6 エネルギー使用量と削減の意向

問 4 問 3 で「2.減らしたいと思わない」とお答えされた方にお聞きます。減らしたいと思わない理由は何ですか。1 つ選んで○をつけてください。

減らしたいと思わない理由について、回答数が最も多かったのは「減らす必要はないと思うから」で 47.5%、次いで、「減らす方法がよくわからないから」が 18.6%、「減らすためには費用がかかるから」が 11.9%でした。

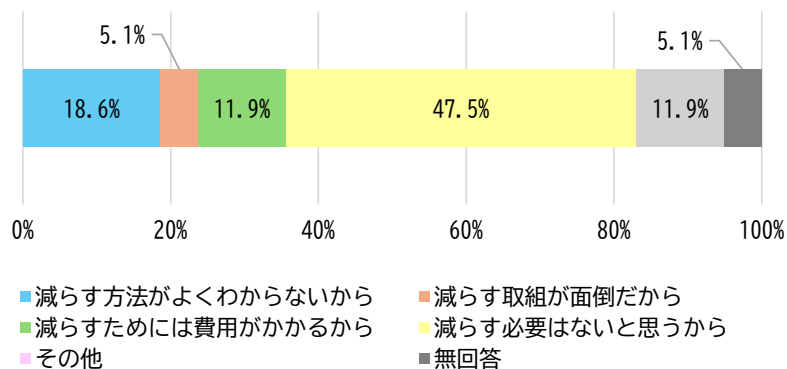


図 7 エネルギー削減に対し支障となる事柄

問 5 お住まいの契約電力を「再エネ電力メニュー」に切り替えることでも、再生可能エネルギーから作られた電力を活用することができます。再エネ電力メニューの利用状況について、1つ選んで○をつけてください。

「既に利用している」と回答した人の割合は 10.9%で、「利用を検討している」と答えた人の割合と合わせると、45.7%となりました。

一方で「利用したいとは思わない」と回答した人の割合は 51.7%で、利用している人の割合を大きく上回りました。

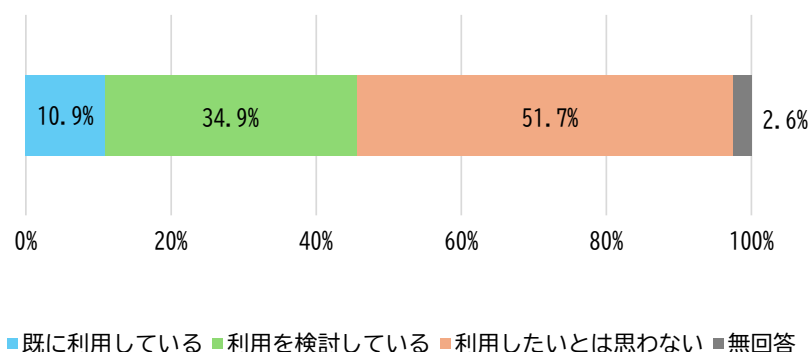


図 8 再エネ電力の利用状況

問 6 問 5 で「2.利用を検討している」、「3.利用したいとは思わない」とお答えされた方にお聞きします。再エネ電力メニューを利用するのに、支障があると感じるものは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

再エネ電力を利用するうえで支障と感じていることとしては、「どのような電力会社・電力メニューがあるかわからない」が最も回答数が多く 58.4%、続いて「契約を変更するのが面倒そうである」が 52.4%、「電気料金が高そうである」が 38.2%でした。

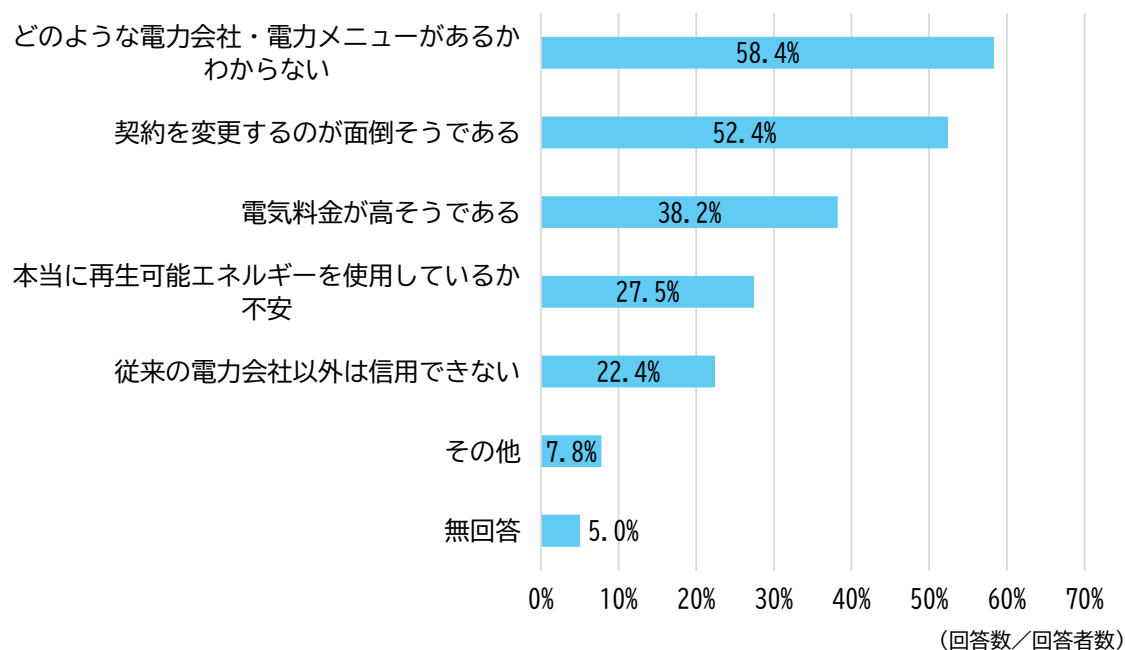


図 9 再エネ電力利用に対し支障のある事柄

問 7 あなたの家では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の1～12 について、設置・利用のお考えはありますか。1 つ選んで○をつけてください。

「利用している」及び「5 年以内に導入する予定である」の合計割合が最も高かったのは、「電気照明の LED 電球への買い替え」で 67.8%でした。続いて、「省エネ家電への買い替え」が 36.4%、「住宅の断熱化」が 25.1%、「高効率給湯器」21.9%の順でした。

一方で「導入する予定はない・できない」の割合は、「太陽熱利用システム」で最も高く 80.6%、続いて「V2H(車に蓄えた電気を家庭で使う仕組み)」が 78.3%、「既存住宅の ZEH 化」が 77.9%でした。

また、「今後導入を考えたい」の回答割合は、「省エネ家電への買い替え」が 38.9%で最も多く、次いで「住宅の断熱化」23.9%、「家庭用蓄電池」22.3%の順でした。

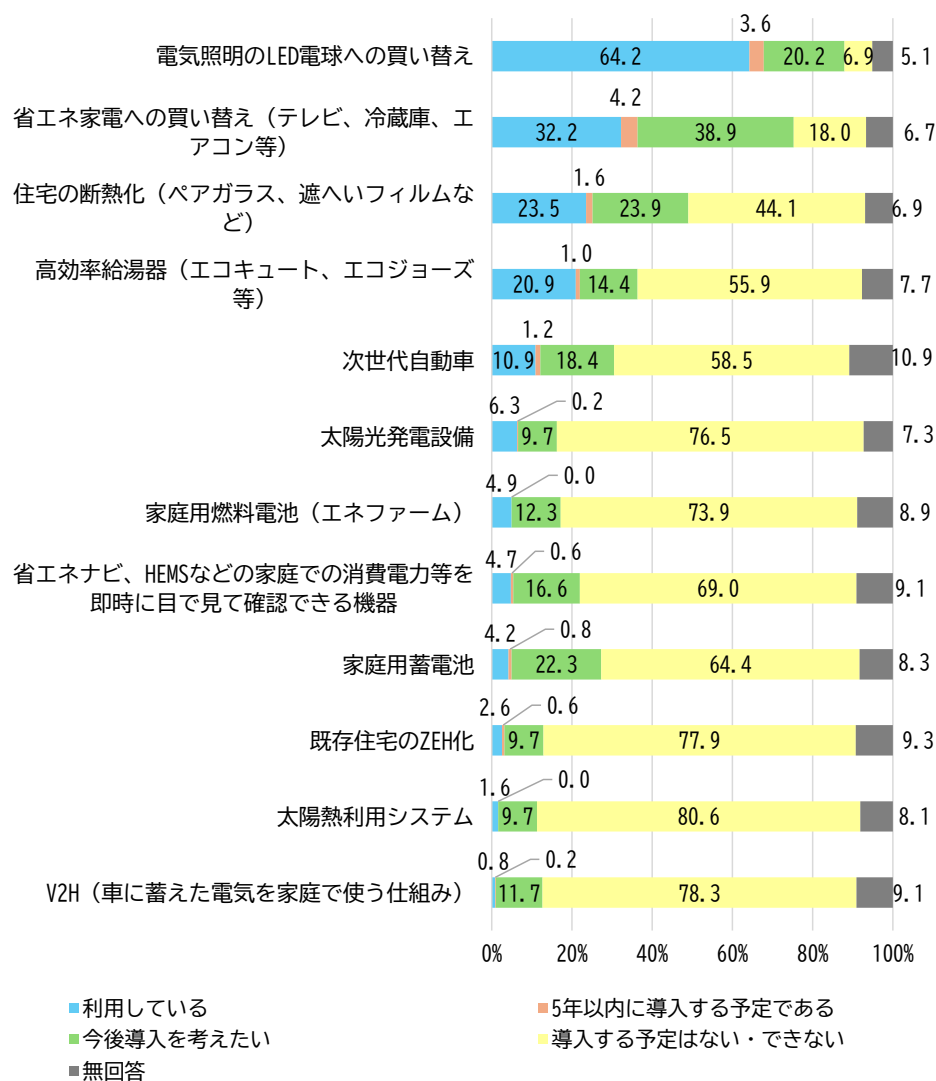


図 10 省エネ機器・再エネ導入の現状と意向

問 8 問 7 にあるような省エネ・再エネ機器を導入するにあたって、支障があると感じるものは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

回答件数が最も多かったのは「購入費用が高い」で 62.5%、次いで「撤去時の費用負担が不安」が 31.6%、「見込み通りの成果を感じられるかわからない」21.3%の順でした。

全体的に、費用に関する回答が多い傾向にあります。

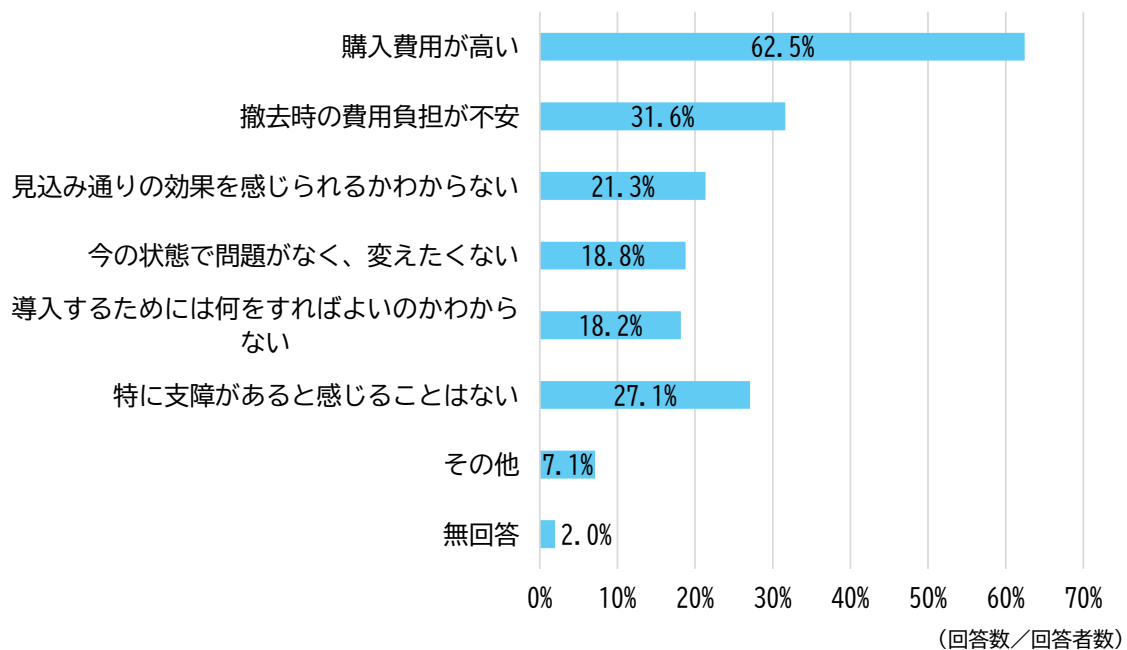


図 11 省エネ・再エネ機器を導入するにあたっての支障を感じる事柄

問 9 家庭で所有されている自動車などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

回答件数が最も多かったのは「ガソリン車・ディーゼル車を所有している」で 54.0%、次いで「ハイブリッド自動車・プラグインハイブリッド車を所有している」が 16.8%、でした。また、「自動車は所有していない」と回答された人が 28.1%ありました。

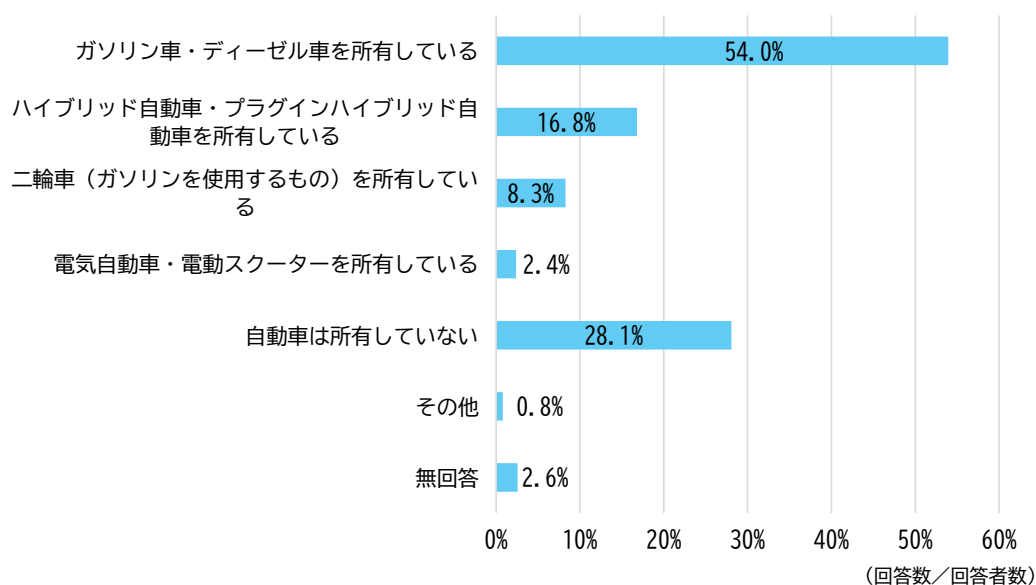


図 12 自動車保有状況

問 10 問 9 で 1～4 と答えられた方にお聞きします。ご家庭で所有されている自動車の利用状況について、1つ選んで○をつけてください。

自動車の利用状況について、最も回答割合が高かったのは「週に 1～2 日利用する」の 38.5%、次いで「毎日利用する」の 28.5%、「週に 4～5 日利用する」18.0%の順でした。自動車を保有している人の半数以上が週のほとんどで自動車を利用しています。

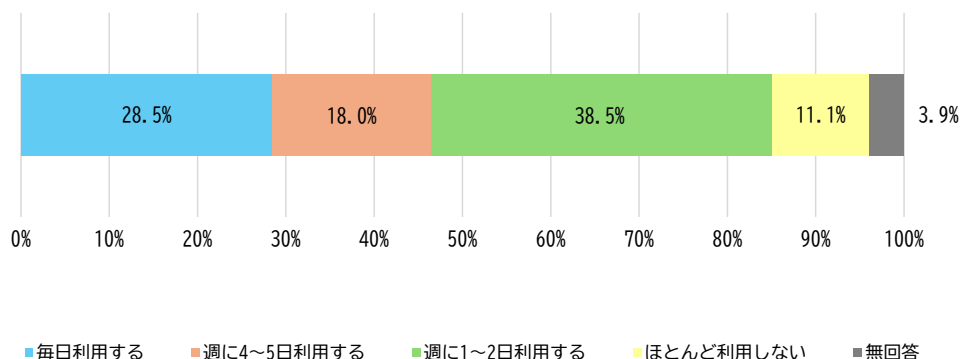


図 13 自動車利用状況

問 11 普段外出する際の公共交通機関の利用状況について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

普段外出する際の公共交通機関の利用について、最も回答が多かったのは「鉄道を利用している」で 75.3%となり、多くの方が普段の外出に鉄道を利用していることがわかります。

また「公共交通機関は利用していない（徒歩や自転車を利用している）」と回答された人が 32.8%となっていました。

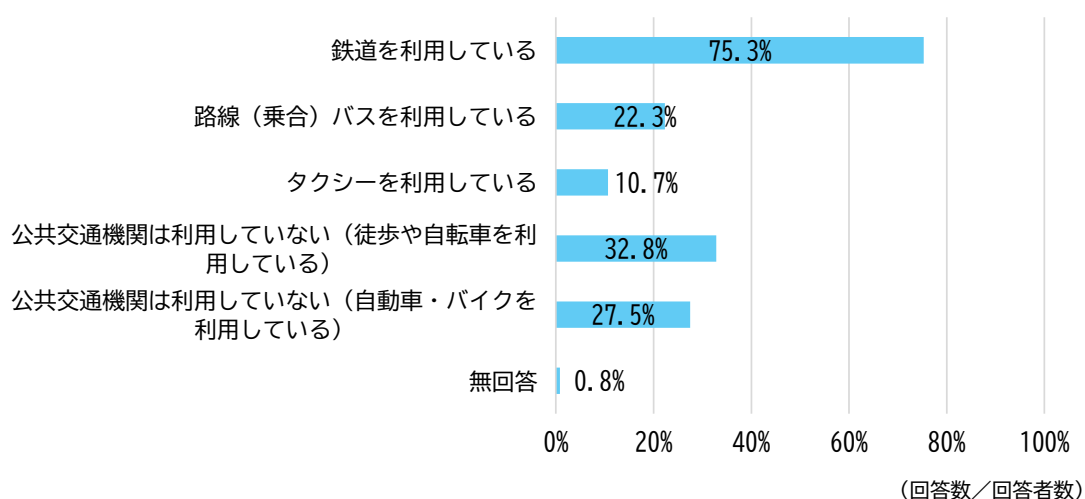


図 14 公共交通機関の利用状況

問 12 あなたは地球温暖化問題に関する情報を主にどこから得ていますか。3つまで選んで○をつけてください。

情報収集の媒体としては「テレビ・ラジオ」が最も回答数が多く 73.1%、次いで「インターネット」が 54.7%、「新聞・雑誌・書籍」が 31.0%の順でした。

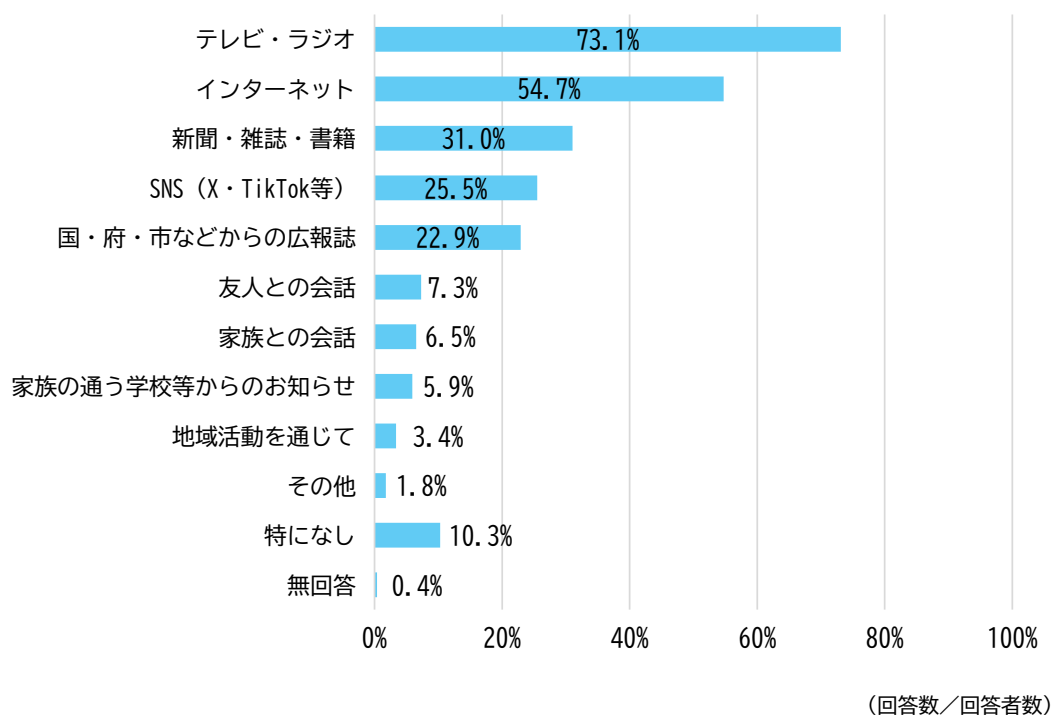


図 15 使用している情報媒体

問 13 現在守口市が実施している取組について、あなたの満足度をお聞きます。
以下の 1～6 について、1つ選んで○をつけてください。

市が実施している取組について「満足」と「やや満足」の回答の合計割合が最も高かったのは「ごみを減らす 3R に対する取組」で 28.9%、次いで「環境の状況や施策に関する市からの情報提供」が 22.1%、「公共施設での省エネルギーの取組」が 16.8%の順でした。

全体的に、「取組を知らない」と回答された割合が高くなっています。

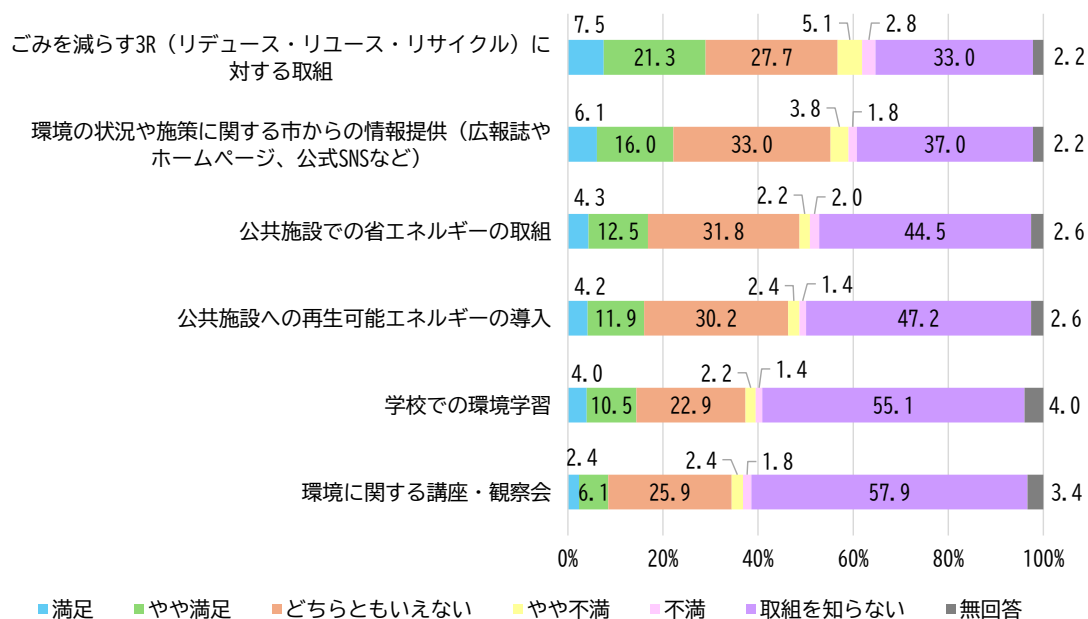


図 16 市が実施している取組に対する満足度

問 14 守口市で重点的に進めて欲しい地球温暖化対策について、3つまで選んで○をつけてください。

重点的に進めてほしい地球温暖化対策について、最も回答数が多かったのは「豪雨災害や熱中症などの気候変動への対応」で 63.2%、次いで「市民の太陽光発電システムや省エネルギー機器の導入に係る補助金等の支援」が 42.1%、「市民のハイブリッド自動車や電気自動車などの導入に係る補助金等の支援」が 35.6%の順でした。

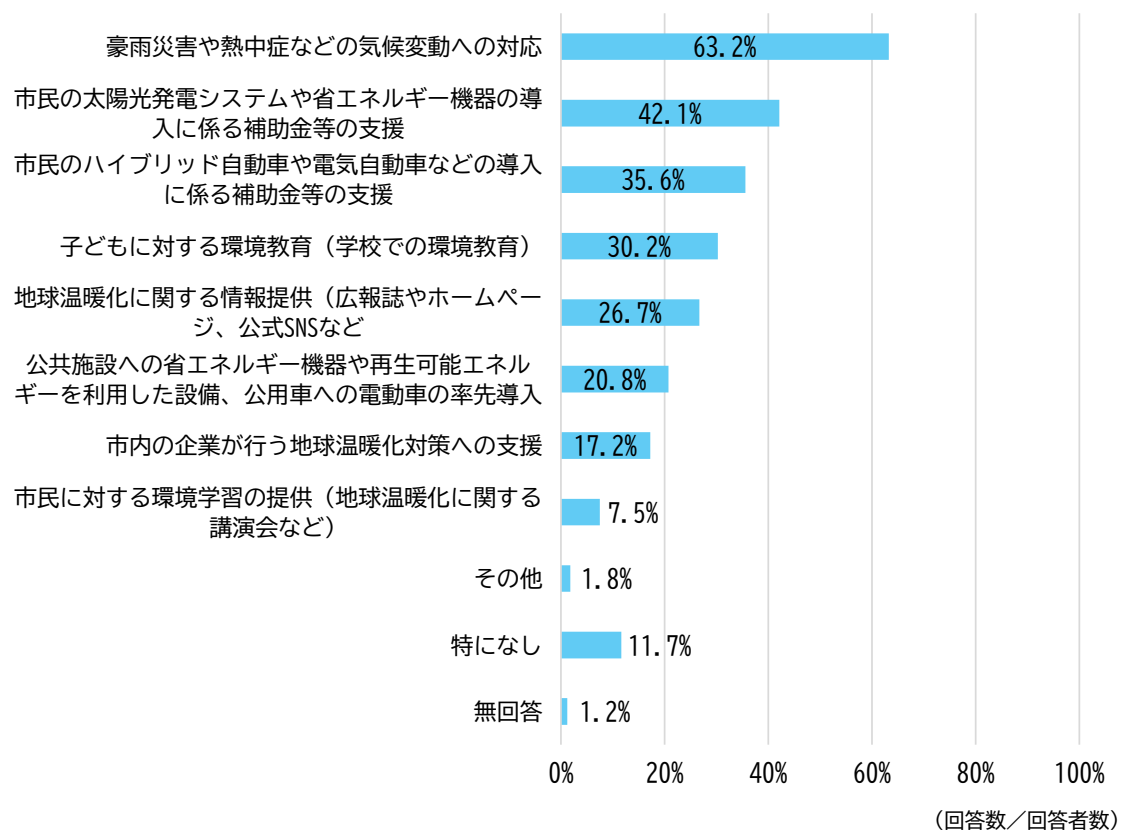


図 17 重点的に進めてほしい地球温暖化対策

問 15 守口市では、2025年2月に、市民・事業者・行政が一丸となって、2050年までに市内の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「もりぐちゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

そこで、あなたが望む、守口市のまちの将来像について、3つまで選んで○をつけてください。

望ましい守口市の将来像についての回答数が最も多かったのは「災害に強く安全に住み続けられるまち」で 77.7%、次いで「自然や緑が豊かなまち」が 63.2%、「公共交通機関の充実したまち」が 51.4%の順でした。

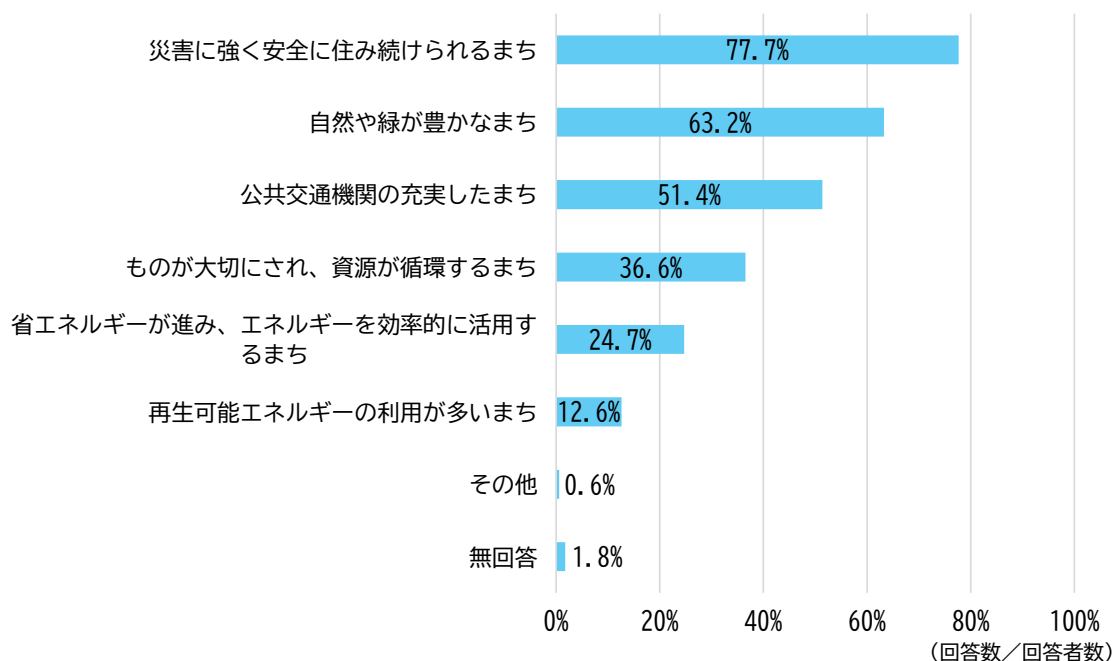


図 18 守口市のまちの将来像

問 16 地球温暖化防止に関する取組を市全域で推進するにあたって、ご意見・ご提案等がありましたら、自由にお書きください。

回答件数	94 件
------	------

※現在取りまとめ中